

そうだ、  
きさいち  
植物園  
に行こう！

Let's go to Kisaichi  
Botanical Garden

## 牧野富太郎の植物図から

約1500種以上の植物を発見・命名し、「日本の植物分類学の父」と呼ばれる<sup>まきのとみたろう</sup>牧野富太郎博士。昨年放映していたドラマの主人公のモデルであり、鋭い洞察力と緻密な描写で植物を正確に写生しています。今年度は、博士の描いた植物図と当園に咲く実物を見比べてみます。



白加賀



### ウメ

分類:バラ科サクラ属  
花期:1~3月



中国原産の落葉高木。観賞用として、また果実を利用する目的で栽培され、数百種と言われる数多くの品種が作られている。寒さに耐え早春に開花する様子は、古来縁起物としても愛され、多くの絵画や工芸品にも描かれている。6月頃に結実する果実は、梅干し、梅酒、梅シロップに用いられる。

牧野富太郎肖像画・植物図:高知県立牧野植物園提供

## かたの市民デー

市民のみなさんを無料でご招待します。

入園料  
駐車料  
無料

日時 2/19(月)9:30~16:30(16:00最終入園)  
持ち物 住所が記載された公的証明書(マイナンバーカード、運転免許証、健康保険証等)  
※交野市外にお住まいの方はご入園できません。

## イベント情報

### ●2/20(火)~3/3(日) 植物園写真展

写真募集は1/23(火)~2/14(水)。2/19(月)かたの市民デーで先行公開します。

## 大阪公立大学附属植物園(愛称:きさいち植物園)

☎891-2059 交野市私市2000(私市駅徒歩6分) HP <https://www.omu.ac.jp/bg/>

開園時間 9:30~16:30(入園は16:00まで)

休日 月曜日(祝休日の場合は開園)

入園料 大人350円/大阪府在住で65歳以上の人150円(住所と年齢が分かる公的証明書提示が必要)中学生以下無料

駐車料 普通車500円/マイクロ1,000円



LET'S GO

# 交野に残る 家康の足跡



おだのぶなが とよとみひでよし  
織田信長、豊臣秀吉と並ぶ三英傑  
の1人、徳川家康。交野市は家康の  
人生に度々かかわっており、今も史跡  
が残っています。家康ゆかりの地ととも  
に交野市とのつながりを紹介します。

## 徳川治世の代官・庄屋

徳川治世の交野では、豊臣時代から続く市橋家や畠山家といった大名や、幕府の官僚である旗本が領地を得ました。こうした領主は交野に在住することはなく、村々の運営は領主の部下である代官や、村の代表である庄屋が担いました。

現在の交野市には、私部の代官屋敷として有名な北田家住宅や、寺の庄屋の屋敷である山添家住宅が残ります。いずれも江戸時代中期の18世紀前半から現代まで維持されてきたもので、国指定の重要文化財になっています。北河内では他に国指定になっている代官庄屋屋敷はなく、その周辺に残る古き良き町

並みとともに江戸時代の文化を伝えています。また、江戸時代になると、戦国時代に大きな被害を受けた獅子窟寺や、光通寺、無量光寺をはじめとした寺院が市内各地に戻り、復興を遂げました。



北田家住宅

## 星田村の庄屋を続けた平井家

大坂夏の陣で活躍した市橋長勝でしたが、死去した際、子がいなかったため改易(領地、家禄等が没収され平民となること)の危機がありました。しかし、養子を後継ぎとし、近江国の仁正寺藩での存続が幕府によって許されることになりました。これには、家康公を支え続けた長勝の功績によるところが大きかったものとみられます。星田の領地も市橋家が治め続けることになりました。

その領地の庄屋は夏の陣で家康をもてなし、伊賀越えでも家康一行を助けたと伝わる平井家が幕末まで務めました。平井家は家康が夏の陣で宿泊した「御殿跡」の管理も務め、帯刀を許されるなど庄屋としては特別な待遇を受けました。家康公との縁は星田に多くの影響を与え、江戸時代を通して語り継がれることとなります。



家康から平井家に与えられた品  
(交野町史より)